

令和6（2024）年

鈴木大使によるテブン大統領への信任状捧呈

12月18日（水）

12月18日、鈴木大使は、大統領府においてテブン大統領に信任状を捧呈しました。その後、大統領と二国間関係につき会談を行い、会談後の記者会見では両国の友好と協力のため最大限努力する旨述べました。

※写真はアルジェリア大統領府によるもの。



鈴木大使とワリード知識経済・スタートアップ・零細企業大臣との会談

11月7日（木）

11月7日、鈴木大使は、ワリード知識経済・スタートアップ・零細企業大臣と会談を行いました。両者はスタートアップ分野における二国間の協力可能性や共通の課題について意見交換を行い、今後更なる協力強化を図っていくことで一致しました。



鈴木大使とマグラマン外務次官との会談

11月4日（月）

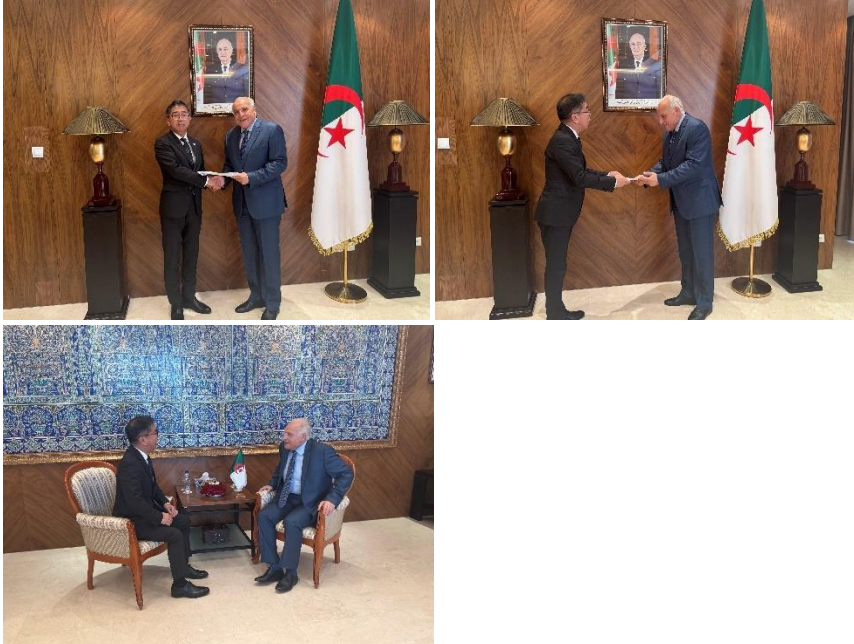
11月4日、鈴木大使は着任挨拶のため、マグラマン外務次官と会談を行いました。両者は二国間の協力枠組や更なる投資の拡大について意見交換を行い、今後も二国間及び国際場裡において協力を継続していくことで一致しました。



鈴木大使のアッターフ外相へ信任状写し捧呈

10月24日（木）

10月24日、アルジェリアに新たに着任した鈴木光太郎大使は、信任状の写しをアッターフ外相に捧呈しました。鈴木大使は、今後さらなる二国間友好関係発展のために尽力してまいります。



河野大使とアッターフ外務大臣との会談

10月6日（日）

10月6日、河野大使は離任挨拶のため、アッターフ外相と会談を行いました。両者は両国関係や国連の役割について議論し、両国関係の更なる発展に向けて一致しました。両国の友情が更に強固で実りあるものとなることを期待します。



河野大使とファーイド財務大臣との会談

10月3日（木）

10月3日、河野大使は、離任挨拶のためファーイド財務大臣と会談しました。両者は本年1月に発効した租税条約を始めとする両国経済関係一般を振り返りつつ、今後の更なる協力・交流の強化で一致しました。日本大使館は、両国の長きにわたる友情の基礎である経済関係が、更に発展し、実りあるものとなることを期待します。



河野大使のコンスタンティヌ県知事との面談

9月24日（火）

9月24日、コンスタンティヌ県を訪問した河野大使は、アブドゥルハーレク・サヨード・コンスタンティヌ県知事と面会しました。同県の主要産業である観光のみならず、機械産業、製薬、農業・食品加工といった同県で盛んな生産業について意見交換を行い、日本と同県の今後の更なる協力の可能性について話し合いました。



河野大使の草の根・人間の安全保障無償資金協力引き渡し式への出席 (ウム・エル・ブアギ県アイン・ムリラ市)

9月24日（火）

9月24日、令和5年度対アルジェリア国草の根・人間の安全保障無償資金協力「ウム・エル・ブアギ県眼科医療機材整備計画」の引き渡し式を実施し、在アルジェリア日本国大使館から河野大使が出席しました。医療サービスの届かない地方に居住する低所得世帯に対する医療支援を行うアメル・アイン・ムリラ（ウム・エル・ブアギ）団体に、眼科機材を供与することで、治療を受けられる住民が増加し、同地域における眼科医療サービスへのアクセス向上に寄与することとなります。





シディ・アフメド・ゴザリ氏への叙勲伝達

8月29日（木）

8月29日、河野大使は元アルジェリア首相・元ソナトラック総裁であるゴザリ氏の御自宅を訪問し、旭日大綬章を授与しました。河野大使は日本・アルジェリア間の経済関係の生みの親ともいえるゴザリ氏に、その多大な貢献に対し謝意を述べました。ゴザリ氏は、アルジェリア独立以来の二国間関係を振り返りながら、今ある経済関係がさらに繁栄することを期待する旨述べました。日・アルジェリアの友好・協力関係の更なる発展を期待します。





ワリード知識経済・スタートアップ・零細企業大臣の TICAD 閣僚会合出席

8月27日（火）

8月24日－25日、東京において TICAD 閣僚会合が開催され、アルジェリアからは首席代表としてワリード知識経済・新興企業・零細企業大臣が出席しました。ワリード大臣は、同会合のプレナリーセッション3（経済）のパネリストとして登壇したほか、辻外務副大臣、原 JICA 理事（中東・欧州担当）、河野デジタル大臣とも会談しました。今般の TICAD 閣僚会合、そしてワリード大臣の訪日が、来年の TICAD9 の成功、そして更なる二国間関係強化に寄与することを期待します。

（辻副大臣との会談）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/pressit_000001_01039.html

（閣僚会合開幕）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/pressit_000001_01074.html

（経済セッション）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/pressit_000001_01095.html





河野大使とワリード知識経済・スタートアップ・零細企業大臣との意見交換

8月19日（月）

8月19日、河野大使は、8月24－25日に日本で開催される TICAD 閣僚会合にアルジェリア首席代表として参加予定のワリード知識経済・スタートアップ・零細企業大臣を往訪し、TICAD の歴史や概要、二国間関係について意見交換を行いました。ワリード大臣からは、今般の参加は日・アルジェリア関係における新たな可能性を追求する機会である点や、アルジェリアによるスタートアップ支援を通じたアフリカ経済全体への貢献についての意気込みが述べられました。ワリード大臣の今回の TICAD 閣僚会合参加が、今後のスタートアップやイノベーションの分野で更なる二国間の協力進展の契機となることを期待します。

（TICAD 閣僚会合） https://www.mofa.go.jp/press/release/press7e_000079.html



アルジェリア海軍と海上自衛隊との親善訓練の実施

7月30日（火）

7月30日、海上自衛隊遠洋練習航海部隊の「かしま」と「しまかぜ」は、アルジェリア沖合の地中海において、アルジェリア海軍「El Faith」と親善訓練を実施しました。アルジェリア軍と自衛隊の訓練は、今回が初めてであり、両国の友好親善及び相互理解の歴史に新たな1ページを開くものとなりました。

今年は、我が国とアルジェリア両国が、それぞれ相手国に大使館を開設して 60 周年

であるとともに、自衛隊創設 70 周年という歴史的な節目に当たります。この記念すべき初の親善訓練を契機に、日・アルジェリア間の一層の協力強化を図っていきます。

(写真は海上自衛隊から提供)



令和 6 年度自衛隊記念日レセプションの開催

7 月 23 日 (火)

7 月 23 日、河野大使、鈴木防衛駐在官は、自衛隊記念日レセプションを開催いたしました。本年は自衛隊設立 70 周年の節目に年に当たります。鈴木防衛駐在官による尺八でのアルジェリア及び日本の国歌演奏で幕を開けた本レセプションには、当国国軍代表、政府関係者、各国外交団及び武官団等、130 名を超える方々に足を運んでいただきました。

河野大使は、アフリカの平和と安定のためのアルジェリアの努力に敬意を表するとともに、ガザ情勢やウクライナ戦争を始めとする今般の国際情勢への日本の貢献に言及し、より複雑化する安全保障情勢に対し国際協力と防衛力を強化することの重要性を強調しました。また、昨年開催された日・アルジェリア治安・テロ対策対話を始め、二国間での協力機運の高まりを歓迎しました。

鈴木防衛駐在官からは、世界の厳しい状況の中、アルジェリアと日本の架け橋となるよう努力を継続していきたい旨述べました。





河野大使のサカタのタネ試験農場視察

5月28日（火）

5月28日、河野大使は、サカタのタネのアルジェ県にある試験農場を視察し、ハキム・ハウシュ代表と当地における農業生産及びビジネス環境等につき意見交換を行いました。当地で生産しているブロッコリーの100%がサカタのタネの種を使用しており、その他当地の気候に適した生産性の高いトマトやスイートチリペッパーなどの種も販売しています。サカタのタネの種を用いて、アルジェリアの太陽をたくさん浴びた、とても美味しく、形の美しい野菜及び果物がアルジェリア各地で生産されています。日本企業が当国の農業の発展に貢献していることを心強く感じました。





河野大使のゴザリ元首相訪問

5月2日（木）

5月2日、河野大使は、令和6年春の外国人叙勲で旭日大綬章の授与が決定されたゴザリ元首相を往訪し、上川大臣からの祝辞を手交しました。二国間関係の歴史や、アルジェリアのこれまでの発展等について意見交換しました。日本企業とも関係が深い国営炭化水素公社ソナトラック社総裁も務めたゴザリ氏は、アルジェリアが独立して間もないころから経済分野で日本との二国間関係に大きく貢献されました。叙勲の伝達式は、後日執り行われる予定です。



令和 6 年春の外国人叙勲受章者の発表

4 月 29 日（月）

4 月 29 日、日本政府はアルジェリアのシディ・アフメド・ゴザリ氏を含む令和 6 年春の叙勲受章者を発表しました。旭日大綬章を受章したゴザリ氏は、アルジェリア外務大臣、首相、国営炭化水素公社ソナトラックの総裁を歴任し、日本・アルジェリア間の関係強化及び友好親善に貢献しました。

日・アルジェリア政府間合同経済委員会設立協定の発効

4 月 24 日（水）

4 月 24 日、「政府間合同経済委員会の設立に関する日本国政府とアルジェリア民主人民共和国政府との間の協定(日・アルジェリア政府間合同経済委員会設立協定)」が発効いたしました。この協定は、本年 1 月 20 日に発効した「日・アルジェリア租税条約」に続いて、日・アルジェリア二国間の投資・経済交流を一層促進することを目指す新たな法的枠組を設定するものです。この協定により、両国の政府関係機関や企業関係者等が一堂に会する委員会が設置されることとなります。この委員会が定期的に協議を行うことにより、両国間のビジネス環境の一層の改善を通じて、両国の民間経済関係がより一層活性化・強化されることが期待されます。

天皇誕生日祝賀レセプションの開催

2 月 22 日（木）

2 月 22 日、河野大使は公邸にて天皇誕生日祝賀レセプションを開催しました。ムルジ文化芸術大臣及びベントリス高等教育・科学研究大臣代理（次官）が政府代表として参加したほか、政府関係者や各国外交団、国際機関、企業関係者、文化人など多くの招待客が出席しました。会場内ではアルジェリアで活動をする日本企業関連の展示や、お茶など様々な日本産食材の紹介が行われ、多くの関心を集めました。挨拶の中で河野大使は、本年、設置から 60 周年を迎えた在アルジェリア日本国大使館及び大使公邸の歴史を振り返るとともに、日・アルジェリアの友好関係の一層の強化を祈念しました。さらに、租税条約の発効に伴う貿易・投資促進や、漁業関連での技術協力などの出来事を振り返りながら、両国間での多角的な分野での連携を深めたいと表明しました。





ウアルグラ県ベニ・トゥール市障がいのある児童の両親のための団体に対する草の根・人間の安全保障無償資金契約署名式

2月19日（月）

2月19日、在アルジェリア日本国大使館にて、草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式が行われ、河野章大使とアブデラティフ・シェリフィ代表の間で署名されました。人間の安全保障及び経済社会開発に貢献する、地域に根ざした団体に対し無償資金供与を行う「草の根」の枠組みにおいて、日本国政府から総額 66,284 ユーロの資金援助が行われます。今回の無償資金協力は、ウアルグラ県ベニ・トゥール市障がいのある児童の両親のための団体による教育機材やセンターの改築費などに充てられ、ウアルグラ県の障がいのある児童の社会福祉に資することとなります。日本政府は、アルジェリアに対して 16 年間にわたって継続的な草の根支援を実施しております。今回のプロジェクトは 11 件目となり、今年度 2 件目の実施となります。



